

実績概要 (ホームページ掲載用)

研究又は活動のテーマ	指宿スカイラインの新たなビューガーデン創造に寄与する 潜在資源の調査及び新技術の研究
助成事業者	一般社団法人 鹿児島県造園建設業協会
代表者	会長 井上 恒治

(目的)

現在、指宿スカイラインでは繁茂し過ぎた沿道樹木の伐採事業が行われ良好な“ビューポイント”が再生されてきている。

沿道には伐採区域はもとより潜在的な景観形成の要因となる資源が多数存在する。

眺望に加え貴重な植物や特有の地形が景観として生きる区域は沿線に多様な変化をもたらし、その連続性は道路の価値を高めることになる。

本研究は、少ない費用で沿線の素材を抽出し、その独自の「魅力」ある景観：“ビューガーデン”を創出するための新技術を案出し、指宿スカイラインの魅力の向上を図り利用促進に資することを目的とする。

(概要)

これまで3年間にわたり指宿スカイラインの魅力向上に資する調査研究を行ってきた。成果として、草刈り頻度や選択的草刈りによって低茎で野生の草花が咲く草地が創出されること、鬱蒼とした樹林を目標とする林床の相対照度に合わせて除間伐することで多様な里山空間を再生できること、懸念される伐採跡地の再萌芽は、初期の萌芽株の定期伐採や除草剤の塗布で抑制できること等の技術的結果が得られた。

一方、指宿スカイライン沿線には多くの魅力ある景観資源が潜在していることが考えられ、現地踏査の結果以下の4か所をビューガーデン創造の適地として選定した。整備の提案にあたっては、これまで培ってきた技術の応用を重視した。

① 希少植物が存在する知覧展望台

保護エリアを設け、生物多様性に基づいた希少植物自然観察ゾーンの整備。

② 有料区間で最も高所にある樋高展望台

絶景テラスを設け、萌芽株の成長抑制技術で永続的に眺望を確保する。

③ 里山の植生が残り、且つ利便性及び安全性に優れた錦江台展望公園

里山の育成管理技術で里山を再生し、県民に安全な里山遊びの場を提供する。

④ 市街地にも近く、本線に隣接している平坦な野河内付近の遊休地

草地及び里山の育成管理技術でドッグランを創造し遊休地の有効活用を図る。

加えて、沿線には日本庭園の源流ともいわれる磐座を思わせる景勝地があり、除間伐、下刈り、草刈り、補植等これまで調査研究してきた技術的手法でビューガーデン創造の実践施工を行った。

今後は、指宿スカイラインが移動のための道路だけではなく、眺望や自然資源を大切にしたい県民のレクリエーションの場として活用されることが望まれる。